

◆◆◆◆◆リハビリ専門職による個別リハビリ実施例◆◆◆◆◆



理学療法士 (PT)

日常生活基本動作の改善を行うために、立位バランスの確認や能力の改善を行います。

筋力トレーニング、ストレッチ等により運動機能に直接働きかける治療を行っています。動作改善に必要な技術を用いて、動作練習や歩行練習などの能力向上を目指します。

作業療法士 (OT)



生活に生かす作業(IADL)を実施し、動作の確認、調整を行います。また動作を安全に、スムーズに行うために環境設置、福祉用具の選定等を実施します。



言語聴覚士 (ST)

食事前には、口腔機能や口周辺の筋力を動かすことにより、安全に食事ができるよう(嚥下機能)トレーニングを行います。それにより、誤嚥性肺炎の予防につながります。

病気により運動中枢の機能低下のために、呂律が回らなくなり言葉を聞き取りにくくなってしまったため発声発語訓練を行います。またスムーズな会話ができるよう、文章を構成するためのトレーニング(書字・発声・発話)も実施します。

ケアステージつくばみらいでは、利用者様の生活環境やニーズに合わせて個別に目標を設定し専門職がリハビリを行っています。身体機能や生活動作にお悩み・お困りの方がいらっしゃいましたら、是非ご相談ください！